

An architectural rendering of a park area. In the foreground, several children are playing on a sandy area with some low-lying vegetation and tree stumps. A woman is pushing a stroller. In the background, a white bus is parked on a paved area, and more people are walking. The scene is surrounded by lush green trees under a blue sky with a few birds flying. The text "前橋クリエイティブシティ構想" is overlaid in large green characters with a white outline.

前橋クリエイティブシティ構想

An architectural rendering of a park area, similar to the one on the left but with a different scene. It shows people walking and sitting on benches in a park setting with trees and a building in the background. The text "説明会" is overlaid in large green characters with a white outline.

説明会

群馬県
前橋市

都市整備課
都市計画課



目指す姿

公共交通と人中心の **ウォーカブルな道路空間へ**
賑わいを創出し **群馬県独自の価値を創造する**

対象区間



群馬県庁・県民広場



本町二丁目五差路



駅前通り

前橋駅

テーマ

世界に誇れる**持続的な県都の発展**を目指し
革新的な都市機能の充実を図る未来のまちづくり

提案内容

- ・ 県庁～前橋駅の道路空間デザイン
- ・ 県庁前 県民広場の空間デザイン

賞 金

最優秀受賞者 **2,500万円** (1作品)
一次審査通過者 **100万円** (4作品)

経 過

海外企業を含む**13チーム44者**からの応募



最優秀 作品

テーマ

稜線がつなぐ まちづくり _ 前橋リッジライン

構成 企業

- ・ マウントフジアーキテクトスタジオ一級建築士事務所(東京都)
- ・ WRT (アメリカ)
- ・ Systematica (イタリア)
- ・ 復建技術コンサルタント(仙台市)
- ・ 三陽技術コンサルタンツ(前橋市)

県庁前通り

市民生活のすぐ横に、水と緑がある
「公園のようなエリア」



国道50号

周辺商業施設の賑わいと一体となった
「まちづかいの場」



本町二丁目五差路交差点

壮大な空と山並みを望む
「遠くが見える気持ちのいい五差路」



県庁・県民広場

都市の中の「広大なグリーンエリア」と
「モビリティハブ」



モビリティハブとは？
バス停などをひとまとめにした便利な乗り換え拠点

群馬県庁

五差路

トランジットモール

群馬県庁から五差路の間は、バスや
タクシーなどの公共交通だけが通れる
専用の空間へと生まれ変わります

前橋駅

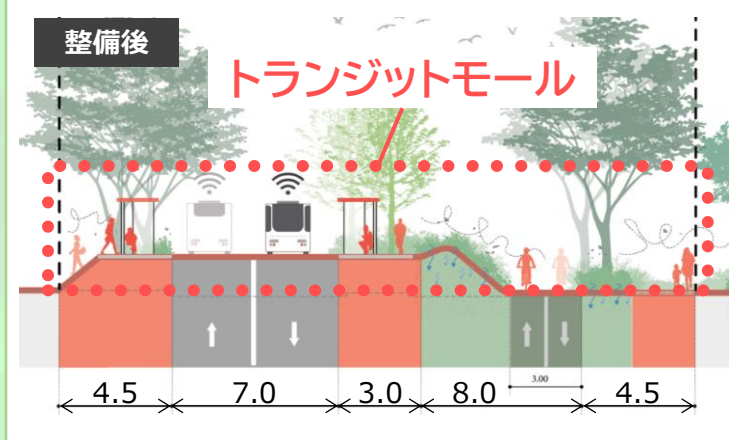
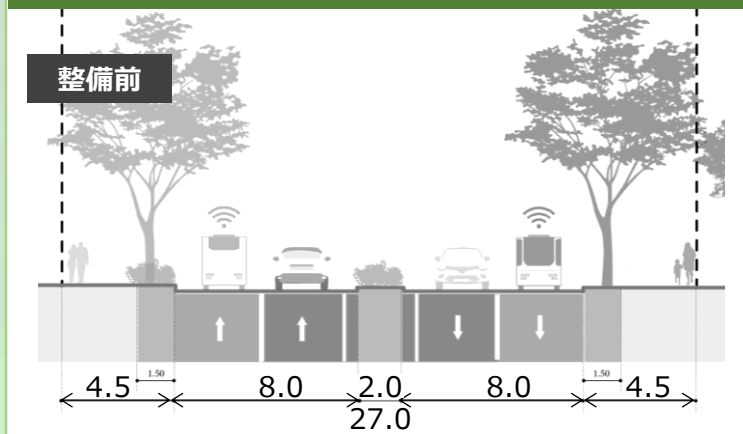
前橋市中心市街地エリア

前橋駅前通り

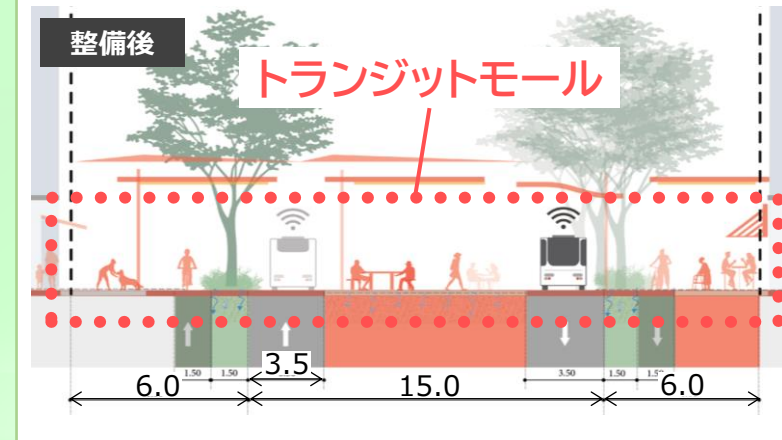
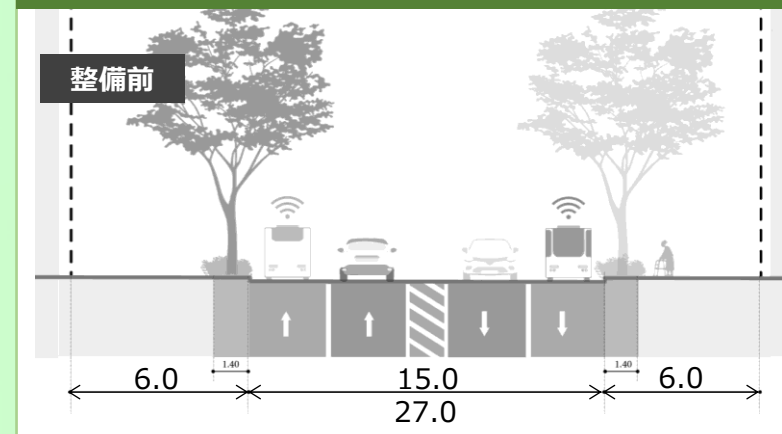
そこで過ごしたくなるような
日常の延長線上の場所



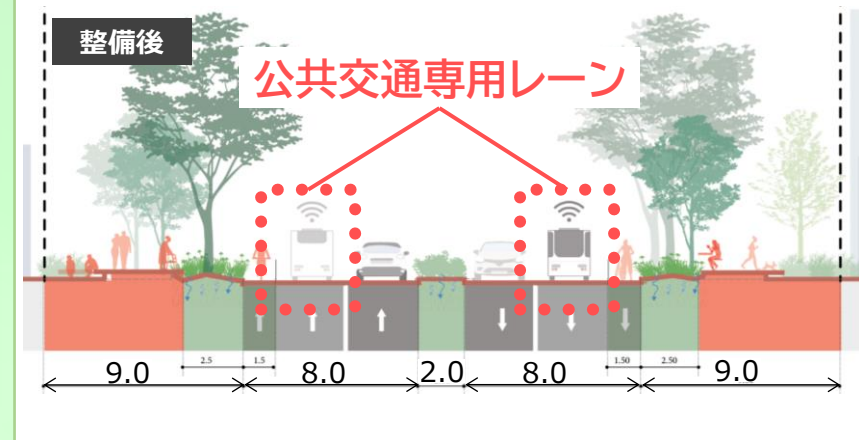
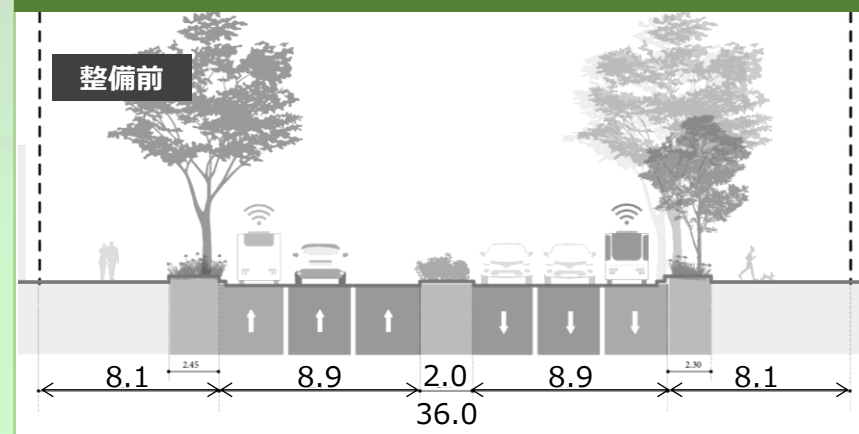
県庁前通り 横断図



国道50号 横断図



前橋駅前通り 横断図



県庁から五差路の一般車両通行を制限

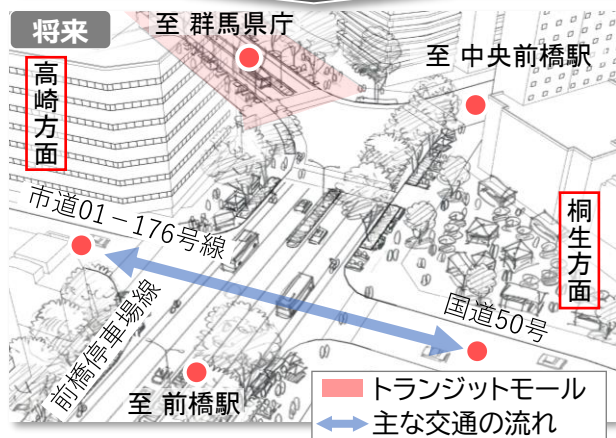
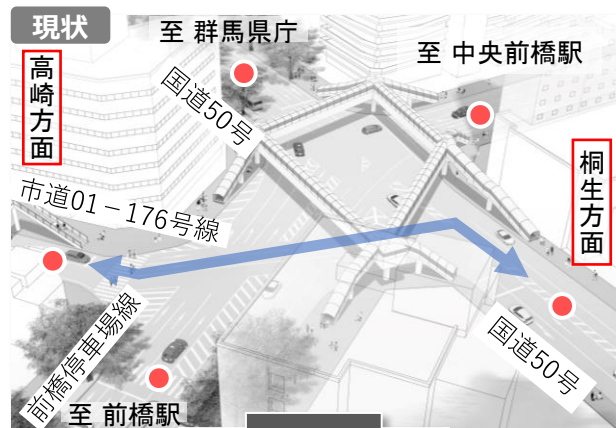
→ 周辺交通に渋滞や混雑が発生



社会実験の様子(R7.9)

複合的な対策により、現状よりも渋滞を緩和しつつ、
新たな賑わいと魅力に満ちた道路空間の創出を目指す

五差路交差点の平面四差路化



交通の流れをスムーズに！

国道50号の交通転換



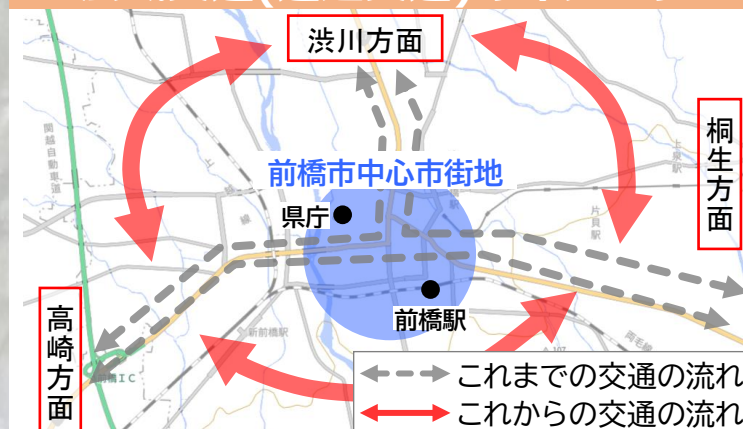
国道50号の交通を市道へ転換！

(注) これらはイメージであり、将来像を確定するものではありません。

※1 ラストワンマイル：目的地までの最後の短距離移動手段

※2 パークアンドライド：郊外などに車を停めて、そこから電車やバスなどの公共交通機関で都市部へ移動する仕組み

広域交通(通過交通)のイメージ



広域交通は中央市街地を回避！

ラストワンマイル※1



パークアンドライド※2



パーソナルモビリティ

目的地まで“あと一歩”の交通手段！

国際コンペ シンポジウム

令和7年8月23日(土)14:00~16:00

会場：前橋プラザ元気21 ホール

参加者数：約300名

プログラム

1.開会挨拶

群馬県知事
山本 一太



2. 最優秀作品プレゼンテーション

前橋クリエイティブシティ共同企業体代表
マウントフジアーキテクツスタジオ 原田 麻魚



3. パネルディスカッション

テーマ

『世界に誇れる未来志向の革新的な
まちづくりとエリア価値の向上』

パネリスト (5名)

コーディネーター

審査委員



石田 東生
(筑波大学名誉教授)

審査委員長



佐々木 葉
(早稲田大学教授)

地域関係者代表



田中 仁
(((株)ジーンズHD
代表取締役CEO)

地域関係者代表



小川 あきら
(前橋市長)

最優秀提案者代表



鶴田 景子
(WRT(アメリカ))



参加者の声

- ◆構想が素敵でワクワクするものだった。
- ◆効率化だけを求めたものではなく、五感を刺激される構想になっていた。
- ◆沿道への波及効果やこの道路空間での過ごし方がまだ見えない。
- ◆トランジットモール化による周辺道路の影響や周辺道路の渋滞解消方法案を早めに明示してほしい。

まちづくりWEEK

まちづくり会議 (オープンハウス等)

8月20日(水)～8月23日(土)

会場：まちなかサロン、元気21

参加者数:約180名



縁側トーク (意見交換スポット)

8月22日(金)～8月24日(日)

会場：県庁～前橋駅(計6箇所)

参加者数:約290名



リッジラインウォークショップ(まち歩き)

8月24日(日)

会場:県庁前～元気21、元気21～前橋駅

参加者数:約20名



オープンハウス



意見交換スポット



まち歩き



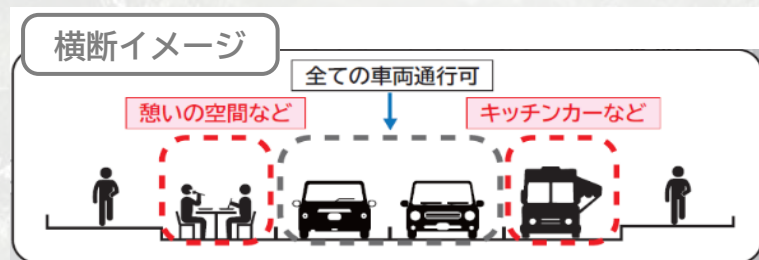
参加者の声

- ◆計画、デザインありきで進んでいるのではなく、ワークショップにより市民との対話を重ねて検討が進んでいることに安心した。
- ◆車社会の前橋で、この提案のおかげで歩く人が増えて車依存度が下がったら、世界的に見てもすばらしい成果である。
- ◆閑散としているのでカフェなどが増え、歩道に賑わいがにじみ出してくるとよい。
- ◆平面交差で渡りやすくなるのはとてもよい。渋滞が緩和することを望む。

県庁前通り社会実験

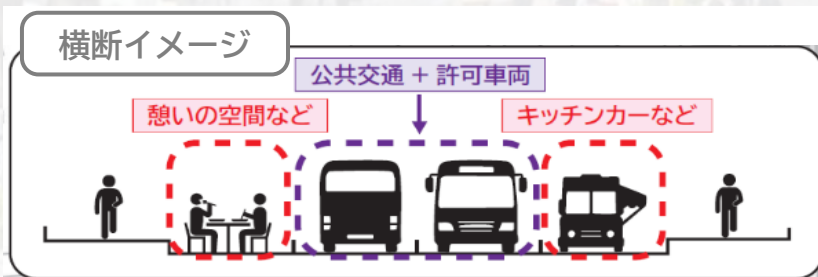
【第1弾】9月17日(水)～9月19日(金)

規制内容:上下線の外側1車線を通行止め
空間活用:憩いの空間、キッチンカー等



【第2弾】11月19日(水)～11月21日(金)

規制内容:全線通行止め
中央2車線を公共交通+許可車両のみ
空間活用:憩いの空間、キッチンカー等



第1弾 (上下線の外側1車線通行止め)



参加者の声

【賑わいについて】

- ◆ パーソナルモビリティは、とても楽しく実用的で良い体験ができた。キッチンカーの料理も美味しくてよかった。
- ◆ 普段より活気が生まれ、良い道路空間の使い方である。
- ◆ キッチンカー以外に賑わいがない。

【周知について】

- ◆ 事前に看板などで周知されているし、しっかりと交通規制されていたので安心して利用できた。
- ◆ もっと周知した方がよい。イベントを知らない人が多い。

【交通について】

- ◆ 交通への影響が許容できれば良い取組である。
- ◆ 前橋駅発のバスが10分遅れた。

前橋の中心市街地まちづくり

